

守 暮らしと安全

機能的な生活基盤で安全で清潔な暮らしを守るまちづくり

新規/ ロードヒーティング改修事業 6,540 万円

老朽化の進んでいるロードヒーティングを計画的に改修します。

新規・継続/ 公営住宅ストック総合改善事業 4,564 万円

老朽化した沖見町・春日町団地の住戸改善や大町団地の共用階段手すり設置工事などを実施します。

新規/ 沿岸部避難路自主管理支援事業 34 万円

避難路の維持管理をしていただける町内会や自主防災組織などに対して、必要な物品を支給するなど協働での防災活動の推進、災害発生時の減災を図ります。

宝 夢と宝

人・文化・地域の魅力と夢を育てるまちづくり

継続/ 留萌小学校改築事業 5 億 5,333 万円

留萌小・沖見小の統合にあわせ留萌小学校の校舎・屋内体育館を全面改築します。

新規/ デジタル教材活用推進事業 55 万円

小・中学校に配置しているデジタルテレビの活用促進及びデジタル教材を活用することによる授業の質の向上を図ります。

継続/ 留萌観光・感動事業 614 万円

レトロ調観光バス・カズモ号の運行並びに沖見海浜公園において、留萌海岸花火大会を実施します。

海 海と港

海と港、留萌らしさを未来へ繋げるまちづくり

継続/ 船場公園整備事業 1 億 1,809 万円

市街地におけるイベント広場の確保、留萌管内の交流拠点、新たな観光ゾーンの創出により、市民や観光客が憩う中心市街地と留萌港に隣接した公園を整備します。

新規/ 港湾環境整備事業 1,230 万円

震災の影響もあり、石炭荷役が増加している中、運搬時の粉塵などの環境対策に応じた地区周辺の家屋外壁の洗浄、石炭運搬車両の洗車施設の拡張整備、防塵ネットの設置により環境整備を行います。

信 対話と信頼

市民との対話による働く市役所づくり

継続/ 地域おこし協力隊事業 2,003 万円

地域力の再生に意欲ある都市部の人材を隊員として委嘱し、地域資源を活用して地域力の維持・強化を図ります。

新規/ 移住・定住・交流促進事業 9 万円

移住施策を活発に行っている市町村との情報交換を行うとともに調査研究を進めます。

継続/ 広報広聴活動事業 1,089 万円

様々な媒体を複合的に活用し、効率的、効果的に市政情報を提供するほか、幅広く市民との対話を行います。



生 やる気と活気

やる気を応援し、活気あふれる都市空間と新しい地域経済をつくるまちづくり

新規・継続/ 道路整備事業 1 億 1,851 万円

H 24 年度からの第 3 次道路整備 5 箇年計画に基づき、老朽化への対応と高齢者、障がい者に配慮した生活道路を整備します。

新規/ 通学路安全対策工事 300 万円

通学路に指定されている道路の安全対策を実施します。

新規/ 豪雨対策排水事業 1,200 万円

異常気象時の浸水重点箇所対策として排水施設、都市河川の局部改修及び排水溝清掃を実施します。

優 思いやりと安心

思いやりのコミュニティで安心して健康に暮らせるまちづくり

新規/ 看護師修学資金貸付金 192 万円

市内の医療機関に将来就職を希望する学生に対し修学資金を貸与し、医療技術者の確保を図ります。

新規/ 障害者団体活動支援事業 280 万円

市内の障がい者に関わる活動拠点の確保や障がい者の社会参加の促進・自立を支援します。

新規/ 目のコホート研究事業 75 万円

40 歳以上の市民 1,700 人の参加を募り、5 年間にわたり特に目の健康を守るための目の健康アドバイスをを行います。

地 自然と資源

自然の恵みを活かし資源を大切にすまちづくり

継続/ 菜の花プロジェクト推進事業 227 万円

菜の花による資源循環型システムの構築を目指し、景観作物として観光資源への活用や商品開発の可能性を探ります。

新規/ るもいの顔の見える農業・漁業元氣

プロジェクト事業 348 万円

地域の食の高付加価値化や販路拡大、将来的な後継者確保に向けた気運の醸成や食育の推進などにより、生産者や事業者の経営体質の強化を図ります。

市政運営の重点的な取り組み

市では、「市民が主役のまちづくり」を掲げ、市政懇談会などを通じて、多くの市民と対話を重ねながら、市が直面する課題に取り組んでいます。

昨年度は、「留萌観光・感動物語」をテーマに、市民の協力のもとに新たな取り組みを進めることができました。今年度は「留萌ならではの創りた」をキャッチフレーズに、留萌ならではの「ものづくり」「健康づくり」「体験づくり」を通じて精神的な豊かさ、幸福感を実感できるような「人情港町留萌」を目指した四つの重点的な取り組みを進めます。

引き続き財政健全化計画、市立病院改革プランの進捗状況にも配慮しながら第 5 次留萌市総合計画の着実な推進を図ります。

あらゆる分野において「新・協働時代」をテーマに「留萌力」を育て、未来に向けて子どもたちの笑顔、絆、夢を実現させる留萌を目指します。

地域経済の活性化

地域産業の育成を目指す経済振興対策事業を継続し、経済界との連携を強め、国や北海道の施策を活用し、地域経済の活性化と雇用の確保を図ります。

農水産物や水産加工食品などの地域の食の付加価値を高め、市内外への積極的な PR や、観光と連携した交流人口の拡大を図ります。

引き続き中心市街地における賑わい創出を図る事業を支援し、魅力ある商店街の環境づくりに取り組みます。

留萌らしい産業を創出し雇用を生み出すことで、地域経済の活性化と経済的に安定した生活の確立を目指していきます。

安心安全なまちづくり

地域での相互理解と絆を深め、地域のコミュニティのあり方や新たな

協働について、町内会との意見交換や情報の共有を積極的に行い「協働のまちづくり」を進めます。

都市機能の充実を図るため、道路整備、老朽化した市営住宅の改良など社会基盤の整備を進めるとともに、橋梁の長寿命化計画、通学路の安全対策、市街地の排水機能の回復など、将来にわたる安心安全の確保に努めます。

地域防災の基本である自助・共助・公助を実践し、自主防災組織の拡充と市民防災訓練やお茶の間トークなどを通し防災意識を高め、減災に向けた取り組みを進めます。

子どもたちの夢と可能性が育つまちづくり

次世代育成支援行動計画に基づき、地域ぐるみで子育てを応援する環境づくりを進めます。

留萌小学校の全面改築を行い、子どもたちの学ぶ環境を整備し、充実

「留萌ならではの創りたい」をキャッチフレーズに、第 5 次留萌市総合計画の推進を図りながら、四つの重点的な取り組みを進めていきます。

した教育を行い、「確かな学力」「豊かな人間性」を育む環境づくりに努め、子どもたちの夢と可能性を育むまちづくりを進めます。

子どもたちの健やかな成長を願い、学校や地域において日常的に体力や健康の増進を図り、心と身体バランスの取れた子どもたちの成長を目指した環境づくりを進めます。

健康で笑顔あふれるまちづくり

今後も健康でいきいきとした社会生活が送られるよう市民の健康についての意識を高め、誰もが健康で充実した人生を歩める地域医療、介護、福祉の充実を図ります。

市内医療機関及び介護施設の医療技術者の確保を図るとともに、官・学・民の連携による調査・研究を通じて健康情報の提供や、民間主体による健康に関わるサービスの創出に向け、北海道と連携し育成を支援します。

平成25年度各会計別予算

(単位：百万円)

会 計 区 分		H25年度 予算額 (A)	H24年度 予算額 (B)	比較 (A)－(B)	増減率 (%)	市債(借金)残高	
						H25年度末 見込額	H24年度末 見込額
一 般 会 計		13,023	13,227	△ 204	△ 1.5%	15,156	16,018
特別会計	国民健康保険事業会計	2,914	3,045	△ 131	△ 4.3%	－	－
	後期高齢者医療事業会計	301	296	5	1.7%	－	－
	介護保険事業会計	1,920	1,867	53	2.8%	－	－
	港湾事業会計	177	174	3	1.7%	1,197	1,266
	下水道事業会計	1,423	1,614	△ 191	△ 11.8%	8,980	9,231
	水道事業会計	950	1,190	△ 240	△ 20.2%	3,477	3,552
企業会計	病院事業会計	6,610	6,571	39	0.6%	7,644	8,220
	合 計	27,318	27,984	△ 666	△ 2.4%	36,454	38,286

※各会計ごとに端数処理しているため、合計額が一致しない場合があります。

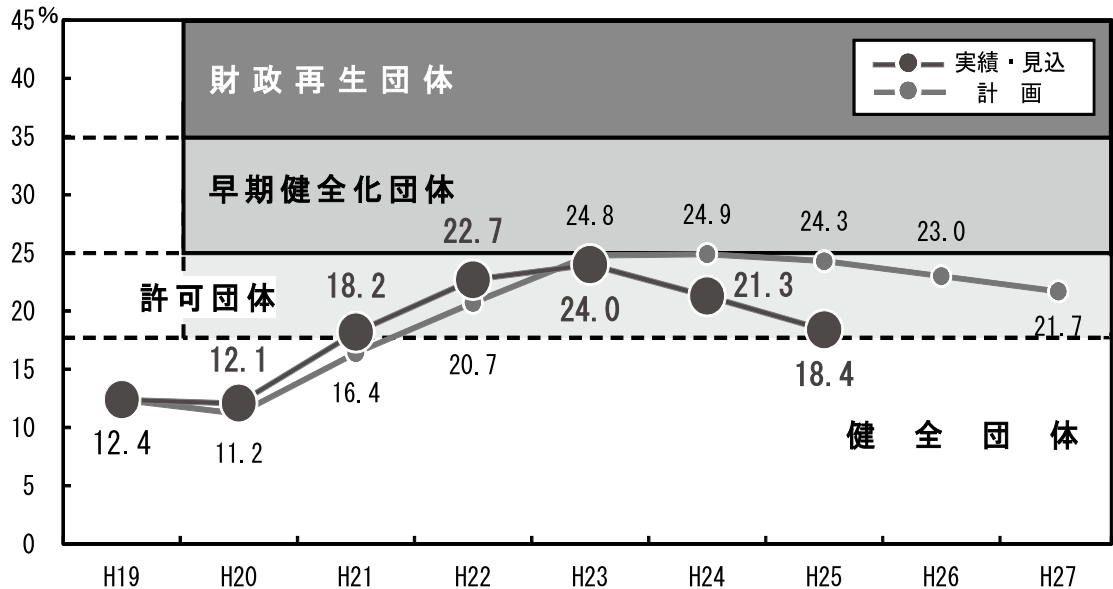
健全化判断比率

平成 23 年度決算において、留萌市全ての会計を連結した実質収支は前年に続き黒字となり、全ての健全化判断比率は健全な水準を維持しました。

平成 24 年度決算見込み、平成 25 年度予算においても、全ての会計を連結した実質収支は黒字を見込んでおり、健全化判断比率は、健全な水準を維持できる見込みです。

実質公債費比率は、借金返済のピークを迎えたことと、国の公営企業に対する繰出し基準の変更が重なり平成 23 年度までは悪化しましたが、借金の繰り上げ返済や新たな借金の抑制により、今後は改善する見込みとなっています。

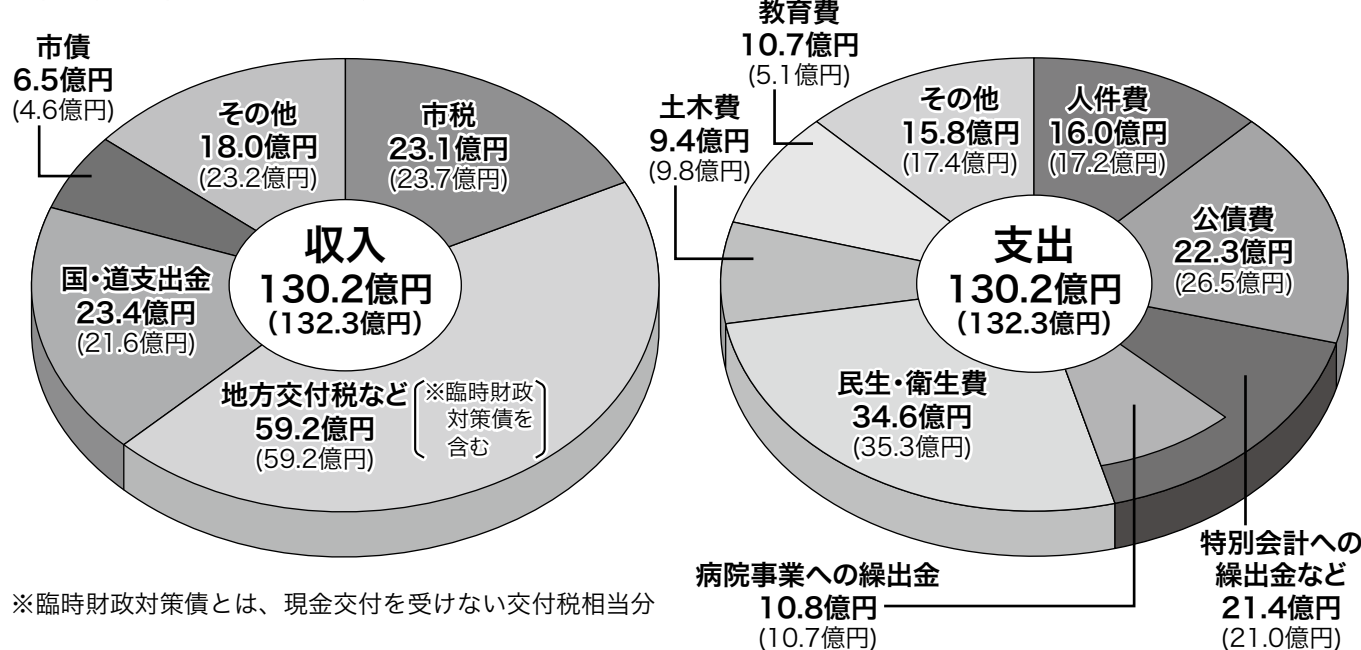
実質公債費比率の状況



平成25年度一般会計予算

平成 25 年度当初予算は、健全化計画の重点項目である地域医療の確保、子どもや高齢者への配慮、社会基盤の維持を踏まえ、経済対策、子ども施策、福祉施策の充実を図った予算編成をし、一般会計の総額は、130 億 2 千万円 (前年度比 2 億 1 千万円の減) となりました。

※()内は平成24年度当初予算額



※臨時財政対策債とは、現金交付を受けない交付税相当分

収入の主な増減

【 】内は前年度比

- 市税 【6 千万円の減】
個人市民税では個人所得が減少し、たばこ税は税率改正で増加しましたが、固定資産税及び都市計画税では評価額の下落修正を実施したことで大きく減少し、市税全体では 6 千万円減少しています。
- 国・道支出金 【1 億 8 千万円の増】
障害福祉サービス費負担金や、留萌小学校改築に係る補助金などで増加しています。
- 市債 【1 億 9 千万円の増】
留萌小学校改築事業や、経済対策としてロードヒーティング改修事業を追加したことなどにより増加しています。
- その他 【5 億 2 千万円の減】
前年度に実施した減債基金からの繰り入れを行わないことや、ごみ処理が留萌南部衛生組合に移行することに伴う、ごみ処理手数料収入などの減により減少しています。

支出の主な増減

【 】内は前年度比

- 人件費 【1 億 2 千万円の減】
退職者数の減少 (12 人から 7 人) や、職員数の減及び新陳代謝などにより減少しています。
- 公債費 【4 億 2 千万円の減】
美サイクル館建設事業債の償還終了や繰上償還実施の効果などにより、元利償還金が減少しています。
- 民生・衛生費 【7 千万円の減】
廃棄物処理施設建設費の減により留萌南部衛生組合への負担金が減少し、民生・衛生費全体では 7 千万円減少しています。
- 教育費 【5 億 6 千万円の増】
留萌小学校改築事業の校舎建設により、大きく増加しています。
- その他 【1 億 6 千万円の減】
公共施設整備に備え、公共施設整備基金への積み立てが増加していますが、財政調整基金への積み立てが減少したことにより、全体で 1 億 6 千万円減少しています。